

「写真新世紀」最後の公募を開始

キヤノンは、新人写真家の発掘・育成・支援を目的とした文化支援プロジェクト「写真新世紀」の2021年度（第44回公募）の募集を3月17日（水）に開始します。30周年の節目をもって、「写真新世紀」の公募は今年度で終了します。



審査の様子（昨年度の優秀賞選出審査会にて）



昨年度の優秀賞受賞者6名
*セルゲイ・バカノフ氏は欠席

■ 「写真新世紀」2021年度（第44回公募）の実施概要

公募は3月17日（水）から5月31日（月）まで行い、6月に開催する「優秀賞選出審査会」において優秀賞7名（組）と佳作14名（組）を選出します。その後、11月に行う「グランプリ選出公開審査会」において優秀賞受賞者の中からグランプリ1名（組）を選出します。

グランプリ受賞者には、奨励金100万円と副賞のキヤノン製品のほか、特典として2022年における個展開催の権利などを授与します。また、優秀賞と佳作の受賞者には奨励金と今年度の受賞作品展への出展などの権利を授与し、受賞者の今後の創作活動を支援します。

なお、今年度をもって「写真新世紀」の公募は終了します。「写真表現の可能性に挑戦する新人写真家の発掘・育成・支援」を目的とする写真コンテストとして長年にわたり国内外から高い評価を受け、昨年度は過去最多の応募者数を記録しました。一方で、近年はインターネットやSNSといった情報発信における技術革新が進み、個人が自由に情報を発信し、制作・表現の場がグローバルに広がったという社会的背景もあり、30周年となる今年度を節目として公募を終了します。2022年以降の「写真新世紀」の活動については、詳細が決定次第、「写真新世紀」ホームページにてご案内します。

< 「写真新世紀」とは >

「写真新世紀」は、「写真表現の可能性に挑戦する新人写真家の発掘・育成・支援」を目的とした文化支援プロジェクトで、1991年にスタートし、今年で30周年を迎えます。

現代アートシーンで活躍するような写真家・映像作家を発掘するグローバルな写真コンテストとして、今年度は美術評論家の榎木野衣（さわらぎのい）氏、写真評論家の清水穰氏など国内外から7名の審査員を迎えて開催します。

キヤノンでは受賞作品展の開催や受賞作品集の制作、ホームページでの情報発信など、受賞者の育成・支援活動を総合的に行うことで、次世代の写真表現を切り開き、写真界の発展に寄与してきました。これまでの応募者総数は33,359名（組）に上り、国内外で活躍する優秀な写真家を多数輩出するなど、新人写真家の登竜門として認知されています。

<2021 年度（第 44 回公募） 応募要項>

● 応募資格

- ・応募者の国籍、年齢、経験（プロ・アマチュア）は問いません。
- ・個人またはグループでの応募が可能です。ただし、グループの場合は今後もグループでの活動を継続していくことが前提です。

● 応募条件

- ・過去にコンテストなどで入賞または入選したことの無い、オリジナル作品に限ります。また、現在ほかのコンテストなどに応募し、まだ結果が判明していない作品は応募できません。
- ・第三者の権利（著作権、肖像権など）を侵害する作品は応募できません。
- ・応募者 1 名（組）につき 1 作品の応募とします。同一人物が個人とグループで重複して応募することはできません。
- ・作品形態、点数などの制限はありません。
- ・郵送による作品応募だけでなく、オンラインによるデジタル作品（静止画^{※1}・動画^{※2}）の応募も可能です。

※1 静止画データの容量は 1,000MB 以下かつ 100 枚以下とし、サイズは 1,200×1,600pixel 以上を推奨します。また、ファイル形式は JPEG72dpi を推奨し、審査時の色空間は sRGB を基準とします。撮影機器は問いません。

※2 動画データの容量は 1,000MB 以下、フォーマットは MP4 とします。撮影機器は問いません。

● 応募費用

応募費用は無料です。郵送費用については応募者負担となります。

● 応募申し込み期間

作品を提出する前に、「写真新世紀」ホームページから申し込みをする必要があります。

受付期間：2021 年 3 月 17 日（水）～ 2021 年 5 月 31 日（月）

【郵送による応募】最終日 17:00 必着

【オンラインによる応募】最終日 23:59（日本時間）まで

応募受付センター：株式会社放送映画製作所

〒107-0052 東京都港区赤坂 6-6-20 赤坂 DT ビル

【TEL】03-5544-9460（平日 10:00～17:00）

【メールアドレス】newcosmos@hosoeiga.co.jp

● 賞

グランプリ	1 名 (組)	・奨励金 100 万円（優秀賞奨励金 20 万円を含む） ・副賞 キヤノン製品 ・2022 年における個展開催の権利 ・優秀賞の全特典 * 優秀賞 7 名（組）の中からグランプリ 1 名（組）が選ばれます。
優 秀 賞	7 名 (組)	・奨励金 各 20 万円 ・受賞作品展「写真新世紀展 2021」への出展 ・グランプリ選出公開審査会への参加 ・「写真新世紀誌」次号での紹介 ・「写真新世紀」ホームページでの紹介 * 7 名の審査員がそれぞれ 1 名（組）を選出するため、重複受賞で人数が減る場合があります。
佳 作	14 名 (組)	・奨励金 各 3 万円 ・受賞作品展「写真新世紀展 2021」への出展 ・「写真新世紀誌」次号での紹介 ・「写真新世紀」ホームページでの紹介 * 7 名の審査員がそれぞれ 2 名（組）を選出するため、重複受賞で人数が減る場合があります。

● 審査員

榎木野衣氏（美術評論家）、清水穰氏（写真評論家）ほか5名

*審査員の詳細につきましては、「写真新世紀」ホームページ (<https://global.canon/ja/newcosmos/>) をご参照ください。

● 審査方法

6月に開催する「優秀賞選出審査会」において、全ての応募作品の中から各審査員が優秀賞を1名（組）ずつ計7名（組）、佳作を2名（組）ずつ計14名（組）選出します。グランプリは、11月に東京都写真美術館で開催する受賞作品展「写真新世紀展 2021」の期間中に行われる「グランプリ選出公開審査会」において、優秀賞受賞者7名（組）の中から1名（組）を選出します。

● 発表

優秀賞、佳作受賞者には7月末日までに事務局より直接連絡します。また、8月初旬までに「写真新世紀」ホームページ上でも発表予定です。なお、審査結果に関するお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

<ご参考：2020年度（第43回公募）グランプリ受賞作品>



グランプリ受賞作品

『some things do not flow in the water』より

<https://global.canon/ja/newcosmos/gallery/2020/index.html>



グランプリ受賞者 樋口誠也氏